

「学校間交流宿泊体験学習」

～教え学び合う人間関係づくり～

1 趣旨

- ・統合を目前にした中学校の生徒同士が、グループワーク等の体験活動や集団宿泊体験を通して、コミュニケーション能力や他者理解能力を高めるとともに、生徒間及び生徒と教師間の相互理解を深める。

2 ねらい

- ・仲間との活動を通して、話し合ったり協力したりする姿勢を養うとともに、互いの意見や考えを理解し合う。

3 日程

- (1) 期 日 平成26年10月21日(火)～22日(水)【1泊2日】
平成26年10月23日(木)～24日(金)【1泊2日】
- (2) 参加者 A中学校2年生とB中学校2年生 147名 教員11名
A中学校1年生とB中学校1年生 128名 教員 9名

(3) 研修内容

1日目

- 10:00～10:10 入所式(講堂)
10:50～12:00 研修1:講演会～アイスブレイク～(体育館)
13:30～16:50 研修2:ミニ体育祭(体育館)
17:00～17:30 イブニングタイム
18:30～20:30 研修3:交流活動(各研修室)

2日目

- 7:00～7:15 フレッシュタイム
9:00～13:00 研修4:野外炊飯(第1炊飯場・ふれあいの広場)
13:00～14:00 研修5:事後学習(各研修室)
14:10～14:40 退所式(講堂)

○ プログラムについて

活動の中で、生徒同士の「積極的に話す」「相手の話を聞く」という具体的な姿を目標として設定した。

そのため、生徒間の交流を促す活動、実施後に生徒が達成感や満足感を得られる活動を選択して実施した。これにより、生徒個々のコミュニケーション能力や他者理解能力を高めていく。

4 成果と課題

(1) 参加者の満足度結果から

- ・ 事業後の参加者対象のアンケートより、事業全体の満足度として「満足」・「やや満足」と回答した参加者は1年生で99%、2年生で97%であり、ともに高い数値となった。自由記述では、多くの生徒が「初対面の人たちと活動するので不安や緊張がありましたが、話すことができてよかったです」など、現在抱えている心理的な負担を減らすことができたこと。活動そのものの達成感から、初めて出会った仲間と協力できたことによる満足感について多く記している。
- ・ 活動ごとの満足度は、次のとおりであった。どの活動も高い満足度を得ていた。

	講演会	ミニ体育祭	交流活動	野外炊飯
1年生	93%	98%	97%	98%
2年生	97%	93%	92%	97%

- ・ 活動を全体をとおして仲よくなれたかという質問では、1年生で98%、2年生で97%が「仲よくなれた」と感じていた。協力することができたかという質問では、1年生での99%、2年生で97%が「協力することができた」と感じていた。

(2) 生徒の感想

[1年生]

- ・ 他の学校の人たちといろいろ話したり仲良くなれたのでよかったです。最後の野外炊飯でいっぱい話すことができて他校の人たちと交流をたくさんできたのでよかったです。この交流できまりや礼儀などたくさん学べたので学校生活でもいかしていきたいです。

[2年生]

- ・ 最初は、仲良くできるか不安だったけれど寝食を共にしてくると、いろいろな面が分かってきてだんだん打ち解けていきました。心配なこともありましたが、グループ活動をしているうちに周りの友達とも仲良くなれてよかったです。

(3) 成果と課題

- ・ 活動の中で、徐々に「積極的に話す」「相手の話を聞く」という姿が見られ、しっかりとコミュニケーションをとっているグループが多かった。1年生、2年生ともに、参加生徒から高い満足度が得られ、交流の目的は十分果たされたと考えられる。



【ミニ体育祭】



【交流活動】



【野外炊飯】